

リスク一覧（想定されるリスク例）

種別	リスクを孕む事務 種類、部署	No.	孕むリスク	リスク発生の 原因	リスク例
法令の遵守	全般	①	法令等に沿わない事務処理	・認識不足	法令の解釈誤りにより事務処理を誤る。
	法令等で標準処理期間が設けられている事務（情報公開事務を含む）	②	法令等に沿わない事務処理（事務処理の遅延）	・認識不足	起算日を誤り許認可等の事務に係る標準処理期間を超過する。
公金等管理	現金、金券類を取り扱う事務	③	現金、金券類の紛失、盗難等	・不十分な管理	現金を紛失する。 切手やタクシー券の在庫数が帳簿と相違する。
	準公金を取り扱う事務	④	準公金の紛失、盗難等	・不十分な管理	義援金や募金の紛失や盗難が発生する。 協議会や実行委員会等の通帳の紛失や盗難が発生する。
収入	調定事務	⑤	調定事務の漏れ、誤り	・認識不足 ・確認不足	歳入の予算計上を漏らす。 調定伝票の作成が遅れる。 調定に際し、金額や納入者、科目等を誤る。
	税、保険料の賦課を行う事務	⑥	賦課誤り	・認識不足 ・確認不足	エラーのチェックミスによる課税誤り 入力誤りによる課税誤り
	納入通知書を発行する事務	⑦	納入通知書の発行漏れ、誤り	・認識不足 ・確認不足	納入通知書の発行を忘れる。 納入通知書を作成する際、年度、科目、金額等の記載を誤る。 納期限の設定誤り、設定漏れ。
	収納事務	⑧	不適切な領収事務	・認識不足 ・確認不足	領収時、領収印を押し忘れる、又は領収印の日付を誤る。 納入者に領収書を渡し忘れる、又は渡す書類を誤る。 領収書を書き損じた際の処理を誤る。
	未収金の管理が必要な事務	⑨	収入原簿への記載漏れ、督促の未実施・遅れ	・認識不足	収入原簿の作成、記入を忘れる。 滞納事務について、督促を行っていない。
	国県等他団体から交付金、補助金等を受ける事務	⑩	国県等への交付金等申請ミス	・認識不足 ・確認不足	申請期限内の申請を忘れる。 精算時期を誤り、未精算が生じる。 金額や桁を間違えて記載する。
支出	旅費を支出する事務	⑪	旅費事務の誤り	・認識不足 ・確認不足	旅費の積算を間違える。 日程変更により旅費支給額が変更したにも関わらず、精算を忘れる。
	補助金、交付金等を支払う事務	⑫	補助金等の誤決定（確定）・誤処理	・認識不足 ・確認不足	算定誤りや要件の解釈誤りにより、過大・過少な額で交付決定（確定）を行う。 要件を満たしていない者に交付決定を行う。 専決（合議）区分を誤る。
	支払が発生する事務（⑪、⑫及び支給額が一律のものを除く）	⑬	支給額の算定誤り	・認識不足 ・確認不足	委員報酬等の算定を誤る。 医療費等の超過分の払い戻しに際し、算定を誤る。
	支払の発生する事務	⑭	支払事務の遅延・未払い	・認識不足	補助金や委託料等の支払が遅れる。 消費税や源泉徴収税を定められた期限までに納付せず、延滞税や不納付加算税が課される。
		⑮	支出負担行為兼支出命令書作成時の支払額・支払先の誤り	・確認不足	契約金額、請求金額、交付決定額等と異なる額で支出する。 支払先を間違える。 支払口座を間違える。
源泉徴収が必要な支払の発生する事務	⑯	源泉徴収税の徴収処理の漏れ、誤り	・認識不足 ・確認不足	源泉徴収すべき支払の際に源泉を忘れる。 源泉徴収の必要ない支払から源泉する。 源泉金額を誤る。	

種別	リスクを孕む事務 種類、部署	No.	孕むリスク	リスク発生の 原因	リスク例
契約	入札を実施する部署 契約事務	⑰	予定価格等の漏えい	・認識不足	非公開の予定価格等を非公開と認識せず業者に伝える。
		⑱	発注価格の誤り	・認識不足 ・確認不足	設計や仕様書の誤り等により、過大・過少な価格で発注する。 積算システムへの入力を誤る。
		⑲	不適切な契約内容・入札条件の設定	・認識不足 ・確認不足	誤った内容の入札条件を公表する。 競争性の働かない方法により、不適切な契約、入札条件を設定して業務を委託する。
		⑳	入札参加資格の審査誤り	・認識不足 ・確認不足	参加条件を満たしていない者を、入札参加者とする。
		㉑	随意契約要件の誤り	・認識不足 ・確認不足	地方自治法施行令第167条の2第1項各号に該当しない案件を随意契約とする。
		㉒	不適切な随意契約	・認識不足	不適切な契約となることを認識せず、随意契約とするため、分割発注する。(故意を除く)
		㉓	予定価格の設定漏れ、誤り	・認識不足 ・確認不足	予定価格の作成方法、又は記載を誤る。 最低制限価格又は低入札調査基準価格を設けているのに、その価格を記載していない。 事前に記入した予定価格表を厳封していない。
		㉔	契約事務の遅れ	・認識不足	契約手続が遅れ、事業開始が遅れる。 契約未締結のまま業務が執行される。
		㉕	契約事務の誤り	・認識不足 ・確認不足	支払方法や記載すべき条項が漏れるなど、不備のある契約書で契約する。 仕様書の記載内容に誤りがある。 専決(合議)区分を誤る。
		㉖	契約内容の履行確認の未実施、不足	・認識不足	委託した内容について、履行確認・検査をしていない。
物品・財産	指定管理としている所管施設に係る事務	⑳	指定管理者業務の履行管理の未実施、不足	・認識不足	指定管理者との協定内容の履行管理・検査をしていない。 法定管理が実施されないなど、協定内容を満たさない管理が行われる。
		㉗	指定管理としていない所管施設に係る事務	・認識不足	指定管理としていない所管施設に係る業務の発生
物品・財産	物品を発注する事務	⑳	不適切な発注処理	・認識不足 ・確認不足	単価契約している物品を、単価契約者以外から購入する。 発注に際し、発注内容(品目、価格、数量等)を誤る。
		㉙	不適切な検収による受入の誤り	・確認不足	納品の際に、受入内容(品目、価格等)を誤る。 備品等の現物確認を行わない。
	物品・財産を管理する事務	㉚	備品等の不適切な管理、又はこれに伴う亡失の発生	・認識不足 ・確認不足	台帳、帳簿の作成や現物管理が適切に行われていない。 備品や薬剤等の現物確認が行われず、亡失が発生する。 物品の貸付けに当たり、貸付け又は返却処理が適切にされず、物品を亡失する。 重要物品・寄附物品の報告を忘れる。 物品の亡失、毀損に係る報告を忘れる。
		㉛	不適切な処分(廃棄、売却)処理	・認識不足	適正な手続を経ず、物品を処分する。 処分した物品に関し、備品保管簿への記載を漏らす。

種別	リスクを孕む事務 種類、部署	No.	孕むリスク	リスク発生の 原因	リスク例			
物品・財産	物品・財産を管理する事務	③②	保管転換処理の遺漏	・認識不足	保管転換した備品について、所要の手続を遺漏する。 (物品保管転換報告書の提出、備品保管簿への記載漏れ) 機構改革時等、部署間で引継ぎを遺漏し、不明物品が発生する。			
		③③	公有財産の登録、処分処理の遺漏	・認識不足	公有財産台帳(正本・副本)が作成されていない。 公有財産に異動があったにも関わらず、財政課への報告を忘れる。			
	公有財産を管理する事務 (新たに公有財産を取得する事務を含む)	③④	取得や処分に係る誤り	・認識不足 ・確認不足	公有財産の取得又は普通財産の売却に際し、価格の算定を誤る。 決裁区分を誤ったまま、取得や処分を行う。			
		③⑤	登記・登録処理の遅延・遺漏	・認識不足 ・確認不足	登記手続を行わないまま、放置する。 登記手続が完了していない状態で工事着工する。			
	施設(指定管理施設を含む)を管理する事務	③⑥	施設管理における法定点検の漏れ	・認識不足	法定点検を実施し忘れる。			
	公用車を管理する事務	③⑦	公用車の不適切な管理	・認識不足 ・確認不足	車検切れの公用車を使用する。 法定点検を実施し忘れる。			
文書・情報管理	全般	③⑧	書類等の紛失(事務室内)	・不十分な管理	公文書、個人情報等重要な内容を含む文書等を紛失する。			
		③⑨	保存文書の紛失、不適切廃棄	・不十分な管理 ・認識不足	保存文書が紛失する。 保存年限経過前にも関わらず、文書を廃棄する。			
	通知書等を郵送で発送する事務	④⑩	郵送による通知等の誤送付、送付漏れ	・確認不足	通知の送付先を間違える。 大量に発送する際、郵便局への引き渡し漏れが発生する。 宛名と別人の通知を封入したことで、個人情報が漏れいする。 1つの封筒に複数人分の通知を封入したことで、個人情報が漏れいする。			
					④⑪	メール、FAXの誤送信、不適切な送信	・確認不足 ・認識不足	FAX送信先誤りにより、送付物の情報が漏れいする。 メールの宛先誤り、添付ファイルの誤りにより、情報が漏れいする。 メール送信時に他者のアドレスを見られる状態で送信したことにより、他者のメールアドレスが流出する。(BCCを適切に使用しなかった)
					④⑫	USBメモリ不適切利用(情報政策課から貸し出しのUSBメモリはデータの移動用)	・認識不足	データの保存等、データの移動以外の目的で使用する。 データの移動後、USBメモリのデータ消去を忘れる。 USBメモリを紛失する。
	個人情報を取り扱う事務	④⑬	個人情報の不適切な提供(④⑰を除く)	・認識不足	DV被害者の住民票情報を漏れいする。 個人情報を第三者に漏らす。			
		④⑭	個人情報の漏れい	・認識不足	溶解文書の不適切処分により、個人情報等が漏れいする。			
	住民登録等情報を管理する事務	④⑮	住民登録等情報の誤処理	・確認不足	住民登録の異動処理を誤る。 住登外情報の処理を誤る、遺漏する。			

種別	リスクを孕む事務 種類、部署	No.	孕むリスク	リスク発生の 原因	リスク例
文書・情報 管理	外部記録媒体や紙媒体で個人情報を持ち出し又は管理する事務	④6	不十分な管理に起因する個人情報の紛失、漏えい	・不十分な管理 ・認識不足	個人情報の入った外部記録媒体を紛失する。 個人情報の記載された名簿（紙）を紛失する。
	個人情報を含む書類、カード等を対面で交付する事務	④7	個人情報の漏えい	・確認不足	誤交付により、個人情報等が漏えいする。
	情報公開事務	④8	情報公開請求における、非公開情報の漏えい	・認識不足 ・確認不足	非公開とすべき情報を公開する。 黒塗り処理の誤りにより、PDFデータの黒塗り部分が外せる状態で公開する。
その他	他自治体等へ情報転送が必要な事務	④9	他自治体への連絡漏れ、ミス	・認識不足 ・確認不足	ふるさと納税ワンストップ申請者の控除情報の送付処理を誤る。 DV等被害者への支援措置に係る連絡を遺漏する。

上記のリスク以外に記載すべきリスクがある場合は、業務手順書のリスクNo.欄に“◎”を記載し、そのリスクの内容を下段の補足に記載しています。